

経済倶楽部便り

◆東京◆ 2月の講師としてお呼びした慶應義塾大学総合政策学部教授の中室牧子氏は「教育に科学的根拠を」と題してご講演頂きました。

E B P（科学的根拠に基づく実践）の重要性を指摘され、教育についても医学界で使われる臨床実践のようなアプローチをお話しされました。日本ではとかく教育となると、個人的な体験をベースとした話が中心になりがちです。一方、アメリカでは教育面でもE B Pが具体化されているとのこと。特に講演のなかでは、ノーベル経済学賞受賞者のジェームズ・ヘックマン氏による就学前教育の重要性に関するお話が特に興

味深いものでした。中室氏のご講演は4月号に掲載される予定です。

4月の講師は野村総研社長の此本臣吾氏、東京大学経済学部長の渡辺努氏、医療ジャーナリストの森田洋之氏、東京大学先端科学技術研究センター特任助教の小泉悠氏を予定しています。

◆中部◆ 中部経済倶楽部の年間収支は暦年で、2020年の実績は黒字となりました。理由としては19年10月以降、倶楽部事務所を閉鎖し、事務全般を東京の経済倶楽部に移管した効果が全面化したためです。ただし会員数の減少傾向については課題として残されています。

4月の講師は拓殖大学海外事情研究所教授の富坂聰氏、笹川平和財団上席研究員の渡部恒雄氏を予定しています。（日暮良一）